

熊志共育塾のご紹介

塾頭 横山耕二

オフィスチェイカス代表

(中小企業診断士)

熊本から発信する志を持つ次世代経営者のみなさん！
熊志共育塾で共に学びませんか？

熊志共育塾（ゆうしきょういくじゅく）とは
熊本から発信する志を、熊本が誇れる
起業家から共に学び・共に育つ塾です。

＜趣旨＞

熊本の地域資源である「世界発信した地元
起業家／平田耕也氏・立石一真氏の生き様
や起業家精神」を、多彩な切口で事例紹介・
塾頭解釈を示し、質疑応答・意見交換を行う。
塾生の視野を広げ発想力を高め、自分ナイズ
して自社経営の方向付けや決断に活かす。

＜受講概要＞

- ◆受講対象者
経営や人生に向上意欲ある
若手経営者・後継者・幹部
(全業種対応／異業種交流)
- ◆参加者数：7人MAX
- ◆受講期間：10ヶ月
- ◆参加費用：年額 10万円
- ◆定期会合(月1回)
第*土曜日又は日曜日
9:00～13:00(昼食付)
- ◆場所：オフィスチェイカス

熊志共育塾の特徴

定期塾(プラスワン&考察発表&講義&会食懇談)+情報共有+アルファ

共に、智慧の
相乗効果を
実感しよう！

ゼロから上場、
起業家の生き様
から学ぼう！

相互研鑽の場

- ①**セレンディビティーの場** :
思いがけないものを発見し、
多様な刺激と気づきを得て、
変化への対応力を高める
- ②**本音で語る場** : 守秘義務 &
双方向性で、相互連携を推進
- ③**温故知新と未来深耕の場**

知行合一の心
で、見識・胆識
を深めよう！

激変時代、自社
経営の方向性
を確認しよう！

塾頭の知識・経験・技術

- ①**プラスワン** : 最新情報の提供や
時代変化の事象、経営管理の本質
的原理原則を塾頭解釈で紹介する
- ②**考察発表** : ファシリテート&助言
- ③**講義** : 平田・立石氏を徹底研究、
多視点での事例・事象を提供する

意見
交換
&
本音
交流

塾生の知識・経験・技術

- ①**プラスワン** : 多彩な情報取得により
視野を拡大し自己客観視力を高める
- ②**考察発表** : 事前提出の考察発表・
意見交流で多くの刺激と気づきを得る
- ③**講義** : 上場起業家の生き様から、
経営全般を五感で自分ナイズする

熊志共育塾1期生7名からのコメント

①フロンティアビジョン 株式会社 代表取締役 渡邊直登

横山塾頭や現平田社長などのお話から様々な視点で平田耕也氏を見ることで、偉人の考え方、対応が深く理解でき、そこから更に経営の本質を学ぶことが出来ました。他に2つの特徴があります。1つは、横山塾頭によるプラスワンでこれまで横山塾頭が経験してきた体験をノウハウとしてご説明頂いたり世の中の変化を伝えて頂いたことです。もう1つは、塾生同士の議論による気づきと学びです。異業種の志高く活動している経営者の考え方、その事業の内容は刺激が多く、塾生同士の共創が生まれる場でもありました。熊志共育塾は「平田耕也氏から学ぶ」だけではない稀有な経営塾だと思います。



②株式会社 亀井ランチ 代表取締役 亀井明德

現在、平成28年4月の熊本地震において大変なご苦勞をされている地元企業も多いことと思います。弊社も全く同じ境遇です。熊本で数少ない上場企業の平田機工は、昭和28年の熊本大水害(6.26水害)の際に、その前身である平田車輛が被災し廃業寸前まで追い込まれたそうです。しかしその時「瓦礫の搬出に手押し台車が欲しい。」等々の注文が入り、息を吹き返したというのです。そして現在では、GMやダイソンなどに生産設備を納入する世界企業へと発展しています。もし今回の震災で被災し、自社の今後の方向性に迷っている方々がおられたら、平田機工の成長と発展の軌跡から学ぶ事が多いと思います。ぜひ、入塾をお勧めします。



③株式会社 ビッグバイオ 取締役副社長 阪本忠幸

熊志共育塾を受講して平田機工の起源から現在まで成長してきた歴史を知ることができました。最初から上手くいったわけではなく、苦勞の連続だったという事を知りました。その経験を学び、どのように回避し、どのように乗り越えていったのかを塾の中で疑似体験していくことで、自分の立場に置き換えて考え、学ぶことが出来ました。経営をしていく上での心構え、人と人との縁の大切さ、人の経験を取込んで自分流にしていくことで大事な決断をするなど、これから先の私の経営者人生に必要とされることを多く学びました。また塾生は異業種経営者の集団ですので、他の業種の様々な意見や考え方、情勢も学ぶことができ、自身の新たな発見にもつながる有意義な場所です。



塾生7名からのコメント

④株式会社 ワイズ・リーディング 代表取締役 中山善晴

経営の真髄、哲学を学ぶことができる熊本でも稀有な塾です。私は横山塾頭からご指導いただくようになり、今年で10年になります。創業期から経営のイロハについてご指導いただいたのは、私にとって大変幸運でした。中小企業診断士としての知識・経験は県内随一であり、親身になって相談にのっていただける素晴らしいメンターです。熊志共育塾・第1期生は、平田耕也氏について学びました。戦後動乱期にリヤカーの生産から始まり、組立ライン、ロボット、生産システムまで、様々な苦境、困難を乗り越えて成長・発展していく過程を学ぶことができます。偉大な経営者の苦渋の決断の過程には、中小企業の経営者が学ぶべきことが沢山あります。意識の高い仲間達との交流もとても刺激的です。若手経営者の皆さんは、ぜひ、熊志共育塾に参加されることをお勧めいたします。



⑤株式会社 A. C. E 代表取締役 緒方伴泰

熊志共育塾の最大のおススメポイントは、「この場はセレンディビティに溢れた場所である」ということではないかと思えます。一方的に講義を受けるのではなく、塾頭からのプラスワン、講義の中からヒントを得て、浮かんだアイデアを自由な雰囲気の中で発表することができ、そのアイデアに対して塾頭、メンバーから意見をもらい、思いがけないヒラメキや偶然の発見が生まれるという好循環が自然に出来ている場所だと思えます。これは長年インキュベーションマネージャーとして多くの卵を孵化させてきた横山塾頭ならではの雰囲気です。是非この場に参加して、素敵な偶然と会いましょう。



⑥株式会社 万葉福祉会 取締役 山田朝日

平田機工はモノづくりの会社であり「介護」とは似つかない、学ぶことはあるのか？と考えたこともありましたが、それは全くの見当違いで、学ぶことばかりというのが実際でした。

平田氏が創業当時の苦しかった時期をどう乗り切ったか。経営に対する姿勢や考え方。いち早く、アメリカへ行き、最先端の技術を取り入れるために投資を行い、熊本から世界へ企業レベルを進化させた。それらがまさに社員皆が同じベクトルを向いて「燃える集団」となり、「夢」を語れる企業を創った。業務の効率化や、先を見る力も必要ですが、トップとはどうあるべきか？学ぶことができました。また塾生との意見交換。地場企業の社長との会食懇談などで自分の見識や考えを見直すこともできました。



塾生7名からのコメント／塾頭挨拶

⑦有限会社 田島車輛 専務取締役 田島竜一

両起業家に深い縁のある塾頭だからこそ出来る濃密なカリキュラムによって学ぶことができます。これはいわゆる成功した企業の歴史を追って単に学ぶという事とは違います。実際に経営の現場でどんな判断がなされたのか、作業現場でどのように問題を解決したのか、圧倒的にリアルに体験出来ます。いかに問題を解決し、ないものを創り上げてきたのかを体感し考え、どう捉え活かすかを学ぶ、自分自身の方向性の精度をあげることを主体に行われている塾です。経営の起点を増やし、これからの時代、世界とビジネスする展開力を身に着けることができるプログラムになっています。少人数なのでプラスワンや講義内容もディスカッションによっても咀嚼し、より理解を深めることができます。



<塾頭挨拶>熊志共育塾 塾頭 横山耕二(オフィスチェイカス代表、中小企業診断士)

今、世界的社会の行き詰まりに加えて、情報革命等によるパラダイムシフトが始まっており、世界も日本も、そして熊本も大きな社会変革期を迎えつつあります。そのような時代に新たに必要なのは、今迄になかったものを生み出す力であり、そのためには、「自分で考える力」や「人間力」を高めることが求められます。

明治維新に次ぐ日本の大変革点「第2次世界大戦」を挟み、何もないところから事業を始め、熊本から世界に発信する企業を築いた起業家の方々が複数います。その中で、平田機工(株)の平田耕也氏とオムロン(株)の立石一真氏の二人は、私が仕事でのご縁を通して、よく承知している方です。特に平田耕也氏には、13年間直属の部下として仕え、脱サラ後も若手経営者・共育塾にも共感・協力をいただきました。そのご縁で、急逝される4日前に絶筆「共育塾5期生の皆さんへ」という若手経営者へのメッセージも預かりました。

そのような経緯もあり、平田耕也氏から預かった「最後のメッセージ」を、熊本の若手経営者(後継者／幹部)に、どのようにバトンタッチするかを検討し、共育塾で培った対話形式のノウハウを活かした企画を行い、平成28年4月に熊志共育塾1期生を立ち上げて、現在、平田耕也氏を、そして来年度は立石一真氏を同じメンバーで学びます。

「地元起業家に起業家精神を学び、自分ナイズする」という趣旨に共感してもらえる方々と一緒に、新たな「相互研鑽の場」を創りたいので、興味のある方は当塾への参加をご検討ください。やる気ある経営人材を歓迎します！

熊志共育塾を応援します

星崎治男氏

株式会社 星アソシエイツ 代表
元三井物産九州支社長 元イーバンク副社長
天神塾塾長(共育塾の兄弟塾:博多)
起業設立約77社で、そのうち上場8社



親から子へ、子から孫へ。より豊かな社会をバトンタッチするために、世界的な新しい秩序・ルールづくりを求められているといえます。今は時代の変わり目、しっかり見極めることが大切と心得て、この流れをつかむことが肝要だと考えています。

横山代表とは十年来の付き合いですが、次世代の経営人材育成に意欲が高い、信頼のおける人物です。若手経営者の皆様、是非、この熊志共育塾に参加されてはいかがでしょうか。

竹内利明氏

国立大学法人電気通信大学
大学院情報理工学研究科 特任教授
人を大切にする経営学会副会長
ビジネス支援図書館推進協議会会長
研究分野 : 中小企業連携論、地域産業政策論



熊志共育塾は、熊本を代表する二人の経営者について学びながら、横山塾頭がこれまでの経験を全力で伝承する経営塾です。

高い志を掲げて挑戦する経営者として、キラリと光るビジネスモデルを構築してください。これからは、人を大切にして、人の役に立つこと、人のためになることをビジネスにしない限り、企業を永続することは出来ないと考えます。

The Global Production Engineering Company

Hirata



◆平田恒一(創業者)

1951~1977 (26年間)

- ① 団結と協力を勝る力はない
- ② 偉大なる傑物も一人の力は弱い
- ③ ワンマン経営は危険信号と知れ
- ④ 人の意見を聞く度量を備えよ
- ⑤ 愛情と人徳の備わる者に敵はない
- ⑥ いつでも、何でも学ぶ精神
- ⑦ 何度でもゼロから挑戦する気概
- ⑧ 思い続ける勇氣
- ⑨ 500年続く首藤、蒲池一族のプライド

◆平田耕也

1977~2005 (28年間)

- ① 一族復興の思いを受け継ぐ
- ② 社員全員が家族
- ③ 新しい事に挑戦する精神
- ④ 物づくりは人作り
- ⑤ 衆知を集める
- ⑥ 無駄は人生の敵
- ⑦ 見方を変えれば自分が変わる
- ⑧ 問題解決は現場にあり
- ⑨ 凡人の成功は累積にあり
- ⑩ 熊本から世界へ

◆平田雄一郎 2011~

当社は、創業者恒一が、一人の弱さを知る事で、家族、社員の鉄の結束を固く心に誓い、また皆が同じ夢を持つことで、凡人の集まりが、大きな力となり、当社を創りました。

何度も、押しつぶされそうに成った時、祖父や祖先の思いを思い起こすことで、当社は耐えられました。

この様な、当社の歴史を知る、オフィスチェイカス横山代表より、熊本若手経営者の皆様に、当社の企業家精神をお伝えする事で、皆様のお役にたてる事を願います。

2015/5/29

平田機工株式会社

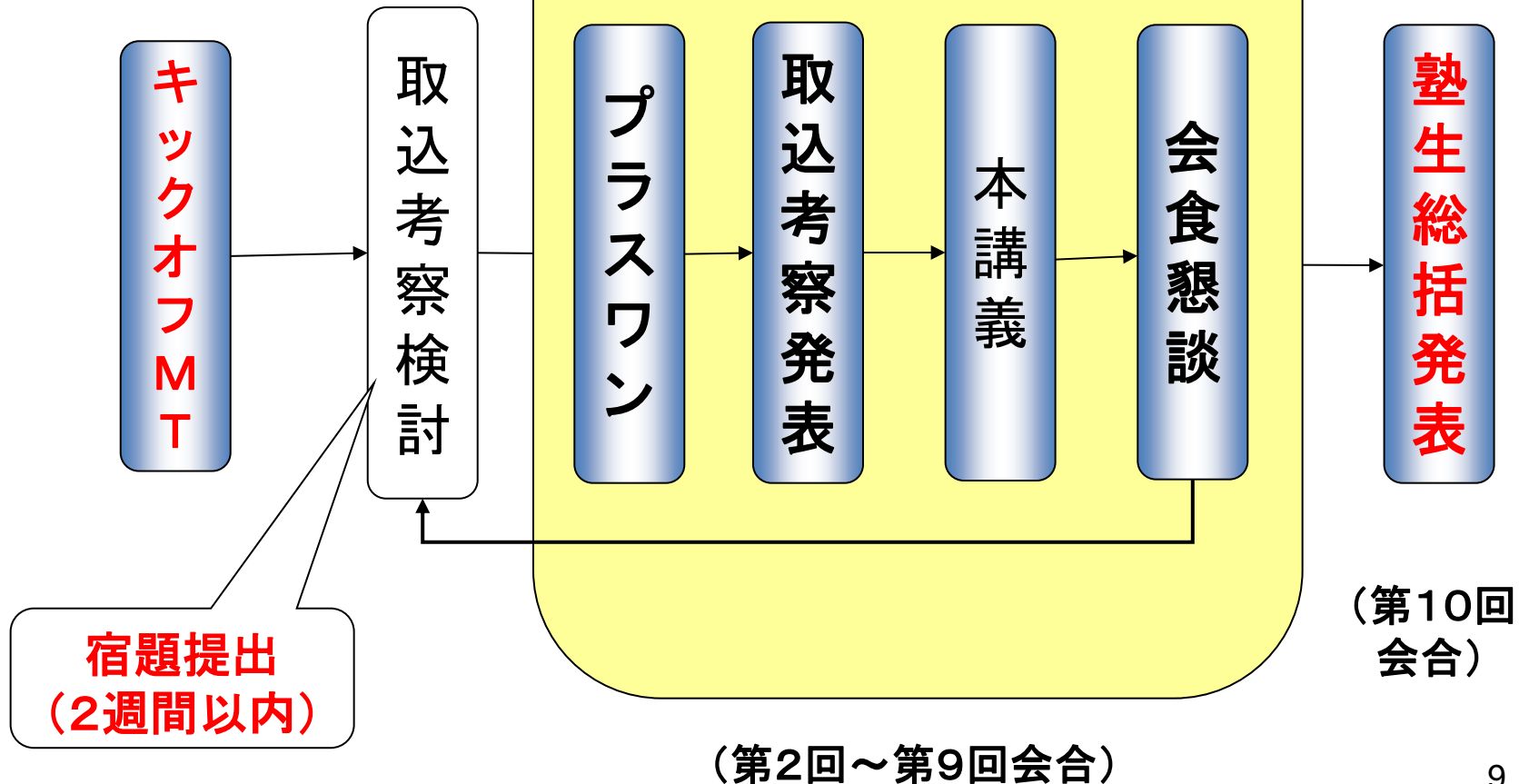
当企画に際して、平田機工(株)平田社長からいただいたメッセージ

定期塾のしくみ

塾生発表は、「前回定期塾に関する考察」とする

(第1回会合:キックオフ)

(各1H、意見交換重視)



塾頭紹介(オフィスチェイカス代表 横山耕二)

住所 : 〒860-0863 熊本市中央区坪井6丁目38-15 建峰ビル3F
連絡先: TEL 096-345-5843 携帯090-4355-6034 Email CYL04676@nifty.com



<経歴>

昭和44年 早稲田大学理工学部
電気工学科卒業
昭和44年～ ミツミ電機(株)入社
IFTの開発設計
昭和53年～ 鳳山美之美有限公司
ミツミ電機→台湾出向
450人の製造部担当
昭和58年～ Uターン、平田機工(株)
ロボット工場運営など
平成 7年～ 脱サラ、病院顧問など
平成10年～ オフィスチェイカス設立

<主な資格・公職など>(H28年度)

中小企業診断士(経済産業大臣認定)
JBIA-seniorIM(JBIA認定)
共育塾メンター/地域診断士研究会メンター
九州志士の会・熊本支部ブレイン
熊志共育塾塾頭、新向上研主宰

元 新連携PM(中小機構九州支部)H.17～H.21.3
元 同センター・リージョンIM(同テクノ財団)H.12～H.18.3
元 中小企業支援センターPM(くまもとテクノ産業財団)

<活動実績>

ミツミ電機 インサーション成形技術の導入
強制引き抜き成形技術の導入
ヘリカルフィルターの民生品化
鳳山美之美 5年間で、生産性260%アップ
ロット不合格率1/10にダウン
累積利益8億円(当時の円換算)
平田機工 新工場建設及び工場移転・稼動
工場の生産管理システムの構築
コンカレント・エンジニアリング推進
オフィスチェイカス 約600社超の企業支援・診断指導
(過去15年) そのうちの約4割は創業支援・指導
各種講演200回以上(県外56回)
各種委員会60回以上(県外27回)

<表彰ほか>

※Japan Venture Award 2002

起業支援家部門・会長賞(江崎玲於奈会長)

※ドキュメンタリー番組「ムーブ2004」(九州・大阪放映)
チ・エ・イ・カ・ス ～ 中小企業「脱・下請」最前線 ～